

大国の責任とは

～中国 平和発展への道のり～

2014年
7月から
新発売

大国に必要なのは支配力ではなく責任論

1970年代末からの改革開放政策によって、国際システムに急速に溶け込んだ中国。その中国が世界舞台のセンターポジションに向かっているのは避けられない現実だ。西側諸国の経済が低迷する中、中国経済の急成長は10年以上も続き、名実共に世界経済を牽引する最強のエンジンとなった。

こうした情勢下にあつて、大国には巨大な支配力が必要ないが方向性が必要であり、それが「責任論」である。金融、人道主義、グローバルガバナンス、安全保障、気候、為替相場、債務などに対する責任を一括りにした中国の「大国責任」に、世界の注意が向けられている。では中国はいかなる方法で国際責任を果たそうとしているのか？

中国の国際責任を体系的かつ網羅的に解析

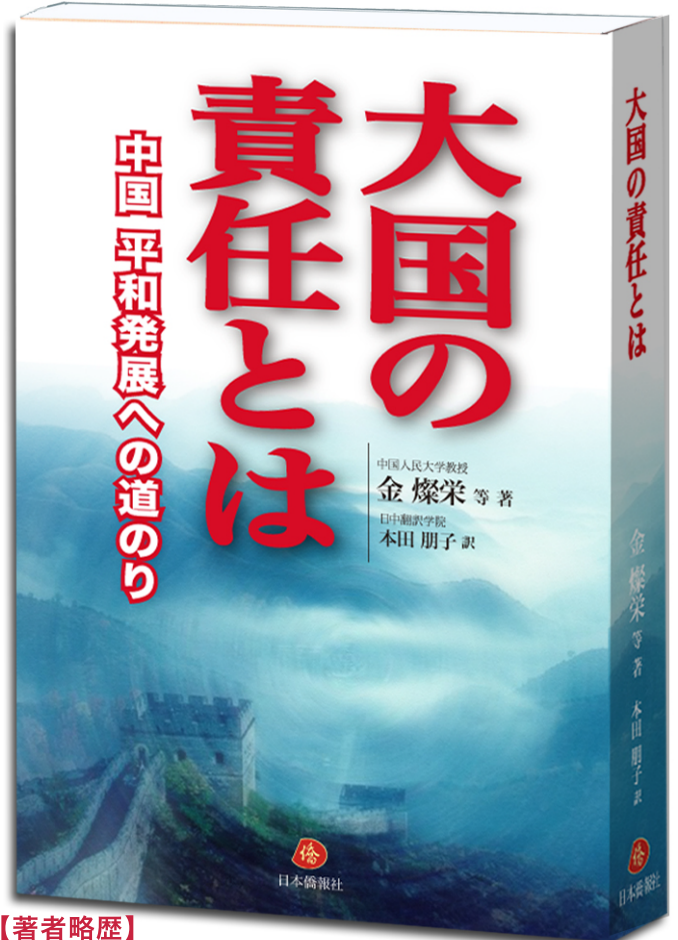
本書は、中国の国際責任の歴史を踏まえた上で、国連安保理常任理事国、世界最大の発展途上国、新興市場経済体、国際社会の建設者としての中国がそれぞれいかに国際責任を果たすために努めているか、その具体例を詳述。さらに中国が現行の国際システムに加入した上で、世界平和と発展にいかにかに貢献するか、その責任課題についても明らかにする。

中国で国際関係学のトップに立つ著者が、ますます関心が高まる中国の国際責任について体系的かつ網羅的に解析。世界が注視する「大国責任」のあり方や、その政策の行方を知る有益な1冊だ。

目次から

- ・第一章 中国の大国責任の分析
- ・第二章 国際責任の起源
- ・第三章 責任ある大国としての中国
- ・第四章 平和維持と責任分担
- ・第五章 発展の推進と福祉の共有
- ・第六章 協力の推進と共同繁栄の実現
- ・第七章 友好的共存、調和とウインウイン
- ・第八章 中国の国際責任

中国人民大学教授 金燦榮 等著 日中翻訳学院 本田朋子 訳
日本僑報社 ISBN 978-4-86185-168-1



【著者略歴】

金燦榮 1962年生まれ。中国社会科学院を経て、北京大学国際関係学院にて博士号を取得。現在、中国人民大学国際関係学院副院長・教授、外交学科博士課程指導教官、中国人民大学国際エネルギー戦略研究センター学術委員会主任、中国人民大学アメリカ研究センター副主任。専門は、アメリカ政治制度と政治文化、アメリカ外交、中米関係及び大国関係、中国対外政策。著書に『多国間主義と東アジア協力』などの他、論文、評論多数。日本僑報社から『中国の未来』を刊行。

【訳者略歴】

本田朋子 共立女子大学国際文化学部国際文化学科中国文化コース卒業。中国深圳外国語学校日本語科勤務。帰国後、翻訳に携わる。2005年第1回「日本人の中国語作文コンクール」（社会人の部）で2等賞受賞。日本僑報社創設の出版翻訳プロ養成スクール「日中翻訳学院・武吉塾」修了生。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 取次コード: 5752)

御注文	送信 FAX 03-5956-2809		大国の責任とは ISBN 978-4-86185-168-1		番線印	
	御住所 〒	発行日：2014年7月28日 四六判 312頁 並製		注文部数		部
	御氏名	定価：本体 2500円 + 税				
	御電話	日本僑報社 e-shop http://duan.jp				